

第2次鳥取県中部定住自立圏共生ビジョン 平成28年3月変更のポイント

1 圏域の課題

近年、日本では全国的に晩婚化の傾向にあり、また未婚率も上昇しているが、圏域においても同様の状況にある。これは、経済情勢の変動、価値観の多様化などによるものと思われるが、圏域の人口の減少及び少子高齢化に与える影響が非常に大きく、圏域の将来を考える上で絶対に無視することができない問題となっています。

また、人口減少による地域コミュニティの衰退により、住民同士の繋がりが益々希薄になっていく中で、結婚を希望する独身男女の出会い婚姻に結びつく機会は、今後益々失われていくことが予想されます。

これらのことから、行政や地域などの協力による、出会いの機会の提供などの取組が求められています。

2 各市町のこれまでの取組

これまで、各市町では、独自に婚活イベントなどの対策を行っていますが、参加者が集まらない、成婚に結びつかないなど、思うような成果に結びついていない状況にあります。

このことについては、イベントのPRが不足しているなどの意見がありますが、市町単独では限界があり、また、対象者としては、地元イベントへの参加には抵抗感があるなどの意見も寄せられています。

3 課題解決に向けた取組

- 上記の課題に対応するため、中部圏域の市町で婚活事業を共同実施し、対象者の参加への抵抗感を解消し、また、効果的なPRを行うことで参加者を増加させ、もって成婚率の上昇に繋がります。
- 成婚については、各市町での成果にこだわらず、圏域での成婚による定住人口の増加を目指します。
- 共同化に当たっては、事務の効率化と経費節減を目指し、広域事務の取組も併せて行います。
- 上記の取組を推進するため、定住自立圏形成協定に当該項目を新たに加え（平成28年3月25日締結）、共生ビジョンにも当該取組を加えます（平成28年3月31日変更）。

4 定住自立圏共生ビジョンの変更

- 第3章の「(3) 賑わいを生み出す結びつきやネットワーク分野に関連する課題」に挙げられている課題として、④の項目に未婚・晩婚化に関する課題を加えます。（17頁）

- 第5章の定住自立圏形成協定に基づく具体的な取組の全体像のうち、「結びつきやネットワークの強化」の協定項目の中の「交流・移住」の項目に「未婚・晩婚化の解消への取組の推進」を加えます。（24頁）
- 「ウ．交流・移住（地域内外の住民との交流・移住促進）」の「◆ 空き家バンクの連携等によるI J U（移住）の促進」の項目の後に、「◆ 未婚・晩婚化の解消への取組の推進」の項目を加え、「広域連携婚活事業」として、未婚・晩婚化の解消のため、婚活イベント、セミナー等を各市町で共同して企画し、実施する項目を加えます。（61及び62頁）
- 取組の成果指標として、「婚活イベント、セミナー等の参加者同士の成婚組数」を設定し、目標として平成28年度から毎年度ごとに3人の成婚を目指すこととします。（62頁）。
- 経費としては、県の結婚に向けた出会いの機会等創出事業補助金（1/2補助）、国からの地方創生加速化交付金などを活用しながら、毎年度200万円程度を見込むこととします。（62頁）
- その他、とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会の表記を組織改革後の鳥取中部観光推進機構に改めるなど、必要な字句の修正などを行います。